

菱田校区津波避難訓練

東日本大震災を受け、11月27日(日)菱田校区において津波を想定した避難訓練が実施されました。

今回の訓練は、マグニチュード8の地震が起こり、5mの津波が襲来するという想定で行われました。午前9時に防災無線で地震発生と津波警報が発表されると、住民らは、自治公民館や自主防災組織であらかじめ設定した第一避難所に集まった後、第二避難所の菱田中学校へ避難しました。

同中学校には、海岸近くに居住する14の自治公民館から約400名が次々と避難してきました。

その後、初期消火訓練、AEDを使用した救急救命指導、南部消防署の署員による防災講話などが行われました。

防災講話では、南部消防署川崎浩さんが、「自分だけは大丈夫、この地域は、津波は来ないなどの過信は一切捨てて、いつ起こってもすぐ避難できる体制を整えることが大事」と話されました。



【第二避難所の菱田中学校へ避難する住民】



【第一避難所へ避難する住民】



【初期消火訓練風景】



【AEDを使用した救急救命指導風景】

津波被害や災害は、いつどんな状況で遭遇するかわかりません。日頃からいざというときに備えて、避難の方法や、避難経路など確認しておくことが重要です。

今回は、訓練の関係で菱田中学校を避難所としましたが、災害の規模、現在住んでいる場所により避難所が変わってきますので、お住まいの自治公民館や自主防災組織で、あらかじめ確認しましょう。

【津波避難のポイント】

- 揺れを感じたらすぐ避難する ～俗説を信じず、最悪を想定して行動する～
- 『遠い場所』でなく『高い場所』へ避難する ～車は使わず・遠くより、高く、一度避難したら戻らない～
- 海岸や河口に近づかない。
- 災害時は、デマが飛び交うこともあるので、正確な情報を得て、冷静に行動しましょう。

《南部消防署のはしご車（地上 30 m）から望む菱田海岸》